



平成21年2月4日

各位

会社名 ミヤチテクノス株式会社
 代表者名 代表取締役社長 田尻 康
 (コード番号 6885 東証第一部)
 問合せ先 取締役執行役員常務 古越 周
 管理本部長
 (TEL. 03-5246-6700)

業績予想の修正に関するお知らせ

最近の業績動向を踏まえ、平成20年11月7日に公表した業績予想を下記のとおり修正いたしましたのでお知らせいたします。

記

1. 業績予想の修正

(金額の単位：百万円)

平成21年6月期第2四半期連結累計期間連結業績予想数値の修正(平成20年7月1日～平成20年12月31日)

| | 売上高 | 営業利益 | 経常利益 | 当期純利益 | 1株当たり 当期純利益 |
|-----------------------------------|--------|------|------|-------|----------------|
| 前回発表予想(A) | 10,200 | 400 | 40 | 25 | 2.16 |
| 今回発表予想(B) | 9,100 | △20 | △490 | △640 | △55.26 |
| 増減額(B)－(A) | △1,100 | △420 | △530 | △665 | － |
| 増減率(%) | △10.8 | － | － | － | － |
| (ご参考)前期第2四半期実績 (平成20年6月期第2四半期) | 10,390 | 899 | 723 | 392 | 33.35 |

平成21年6月期通期連結業績予想数値の修正(平成20年7月1日～平成21年6月30日)

| | 売上高 | 営業利益 | 経常利益 | 当期純利益 | 1株当たり 当期純利益 |
|-------------------------|--------|--------|--------|--------|----------------|
| 前回発表予想(A) | 20,500 | 1,000 | 600 | 400 | 34.53 |
| 今回発表予想(B) | 17,000 | △1,400 | △2,000 | △1,730 | △149.36 |
| 増減額(B)－(A) | △3,500 | △2,400 | △2,600 | △2,130 | － |
| 増減率(%) | △17.1 | － | － | － | － |
| (ご参考)前期実績 (平成20年6月期) | 22,660 | 2,350 | 1,910 | 1,192 | 102.16 |

平成21年6月期第2四半期累計期間個別業績予想数値の修正(平成20年7月1日～平成20年12月31日)

| | 売上高 | 営業利益 | 経常利益 | 当期純利益 | 1株当たり 当期純利益 |
|-----------------------------------|-------|------|------|-------|----------------|
| 前回発表予想(A) | 5,500 | 0 | △90 | △60 | △5.18 |
| 今回発表予想(B) | 5,470 | 35 | △135 | △130 | △11.22 |
| 増減額(B)－(A) | △30 | 35 | △45 | △70 | － |
| 増減率(%) | △0.5 | － | － | － | － |
| (ご参考)前期第2四半期実績 (平成20年6月期第2四半期) | 5,740 | 401 | 459 | 266 | 22.63 |

平成21年6月期通期個別業績予想数値の修正(平成20年7月1日～平成21年6月30日)

| | 売上高 | 営業利益 | 経常利益 | 当期純利益 | 1株当たり 当期純利益 |
|-------------------------|--------|--------|--------|--------|----------------|
| 前回発表予想(A) | 11,500 | 300 | 190 | 120 | 10.36 |
| 今回発表予想(B) | 8,900 | △1,000 | △1,200 | △900 | △77.70 |
| 増減額(B)－(A) | △2,600 | △1,300 | △1,390 | △1,020 | － |
| 増減率(%) | △22.6 | － | － | － | － |
| (ご参考)前期実績 (平成20年6月期) | 12,219 | 936 | 992 | 652 | 55.87 |

2. 修正の理由

世界の景気は急速に悪化しており、世界不況の様相を呈しております。当社の主要顧客である自動車関連業界、電気・電子および部品業界においても生産設備への投資が急激に減速、当社の受注高は、昨年10月以降急激に減少いたしました。第1四半期には好調であった韓国市場も年末にかけて急減速いたしました。下期につきましてもこの状況は続くことが予想されることから、売上高は前回予想を下回る見込みとなりました。

これに加え、想定を上回る円高により海外売上高の円貨相当額が減少する見通しであることおよび為替差損も韓国子会社を中心に見込みを上回る見通しであることから、営業利益、経常利益、当期利益ともに当初予想を下回る見込みとなりましたので業績予想を修正いたします。

現在の厳しい事業環境に対処すべく当社グループ全社を挙げて原価低減、経費削減に努力してまいります。

国内においては、取締役報酬を月額20%～10%減額、常勤監査役報酬を月額7%減額、執行役員および管理職報酬を月額7%～2%減額することといたしました。また、生産量の低下にともない2月および3月において12日間の工場一時帰休を実施することといたしました。

上記の業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現時点で入手可能な情報に基づき作成したものであります。従いまして、実際の業績は、今後様々な重要要素により、これらの業績予想とは異なる結果となる場合があります。

以 上